

市政ニュース

昭和48年5月15日

304号
一部4円

発行所 五所川原市役所



春が訪れると
あたらしいみどりが萌えて
花はつぎつぎと胸を誇る
梅桃桜はもう過ぎたが
山桜とつじはこれからである
小鳥は長い冬のうつぶんを
一度に晴らすかのようにさえずる
ふるさとのよさが目と心にしみる
お山が空に浮き
水を引いた田んぼがきらきらと光る
就職した息子のことを思うが
それもこれも時代というものが
この大地わがものと思えば張りも出る

畑と経営面積が拡大 園地

市では、県が四十七年二月一日現在でおこなった「青森県農業基本調査」の結果をもとにこのほど昭和四十七年度の「市農業のあらまし」をまとめました。米の過剰対策の一環として異例の米生産調整を実施しているさなかの調査だけに、変貌を続ける農業情勢を反映し農家が指向する姿がとらえられています。

市農業のあらまし 四十七年度

昭和四十七年二月一日現在の総農家数は四千四百三十五戸で、十二年前の昭和三十五年二月一日現在に比較して二百三十九戸減少(年平均廃農二〇戸弱)しています。

専業農家が七百四戸(三五年比一、八四六戸減)と大巾に後退した反面、第一種、二種の兼業農家(三、七三二戸で三五年比一、六〇七戸増)が伸び専業農家との比率が完全に逆転しています。

農家にも 老齡化現象

農家の総世帯員は二万二千四百六十七人(三五年比七、五二〇人減)で十六歳から六十歳以上が十二年間に二千五百六十人減っては

いるが、零歳から十五歳までの幼年層(六、三九九人)はこの間四千九百六十人も減り老齡化現象が次第に現われている。ふえ続ける兼業農家で雇われ兼業に従事している人は六千五百六十一人(四二一年比八七一人増)で、このうち兼業の常勤者が千七百四人、季節出かせぎ二千四百十一人、日雇い夫千七百六十八人と四十二年に比較して軒並みふえている反面自営兼業は六



苗をとる農家の人の表情にもきびしさが……

百七十八人(四二年比一五二人減)と最も少ない。農家の就業状態調べでは「農業と兼業に従事」が五千四百四十八人(三五年比二、六三八人増)で「兼業にだけ従事」は千四百二十二(三五年比千六六人増)。「農業にだけ従事」は六千三百八十六人(三五年比六、〇二一人減)と「農業にだけ従事」は十二年前より半減「何も仕事をしていない人」も減っています。

水田 五ヘク以上が十戸に
水田の総面積は四千四百四十七畝(三五年比三四畝

増)で畑、樹園地はともに減少し、水田の作付面積は七十一アル以下の小規模農家は減少、七十一アルから一畝までが増加、一畝から五畝までも一時さん減しているが五畝以上の大型農家(一〇戸)もあります。

畑は、三十アル以下が六十三戸(四二年比二、三六八戸減)だけで、三十一アル〜一・五畝までの農家がふえているなかで四十二年二月現在なかった一・五畝から五畝の農家(七五六戸)が大巾に伸び開田後の米生産調整による転作の影響も生れ五畝以上(四戸)の農家もあり、これは樹園地も同じ傾向です。

お馬は四頭だけ

家畜は、乳用牛が減って役肉用牛がふえ馬は四頭だけ。山羊、めん羊はなくなくなり鶏が十二年前の三分の一に減り豚(二、五八九頭)がふえています。農畜産物の販売状況は、五十万円以下が減って「二〇〇万円」までがふえ、三十五年二月までなかった「二〇〇万円〜五〇〇万円以下」が二百十四戸もあり、五百万円以上が二戸ありました。

安心して巣をつくってネ

野鳥と野草に 親しむ会が発足

「身のまわりの自然に親しみ、健康な心と身体をつくり、郷土の自然を勉強しよう」とこのほど「五所川原市民野鳥と野草に親しむ会」(木村啓会長)が発足し活動を始めました。

この会は「五所川原市民野外植物に親しむ会」が発展的に解消し、ことし二月「まちに緑を」の合い言葉でたちあがった「花と緑と小鳥の市民連合」(森富夫会長)に呼応して誕生したものです。

会員になるには特別な制限はなく、月報代として年二百円の会費を納めると誰でもいつでも入会できます。会では毎月野鳥と野草に親しむ会や、随時スライ



十日の「バードデー」には八幡宮境内で「野鳥に親しむ会」(探鳥会)を開きました。また五月二十四日(木)午後五時から乾橋下の岩木川原で「野草に親しむ会」(探草会)を開いて身近にある野草を観察します。野鳥、野草に親しむ会には会員、会員外をとわず誰でも自由に参加できます。なお会の事務局は市内田町、下山とうふ店(電話④二〇一二番)にあります。

この華麗にして

工藤さんが最高 市の名字調べから

市窓口サービス課は、市内の「名字調べ」をまとめましたが、それによると「工藤」姓が四百二十五世帯で最も多く、二位の「木村」姓と三位の「成田」姓でベストスリーを占めています。

これは、同一姓が五十世帯以上の七千六百九十八世帯を対象におこなったもので、十位に「葛西」(一二七三世帯)、二十位に「藤田」(一三二二世帯)、三十位に「外崎」(九四四世帯)、四十位に「中村」(七六六世帯)、五十位に「其田」(六四四世帯)、六十位に「山内」(五〇〇世帯)がそれぞれランクされています。一位の「工藤」は旧町の二百七十七世帯、松島の七十一世帯、栄の四十四世帯、長橋、七和の順になっていますが「中川地区」には「五十世帯以上」はありません。二位の「木村」は、旧町の二百一十世帯、松島の七十一世帯、栄の六十八世帯、三好、昆沙門の順で、三位の「成田」は旧町、栄、長橋、松島、梅沢の順です。六十位までランク付けされた「名字」を地区別にみますと旧町で多彩なのは当然として栄と松島、飯詰地区が全般的に「名字」の種類が豊富で、その人口動態に比例して「家」の移動が激しかったことを物語っています。

| 順位 | 名字 | 世帯数 |
|----|----|-----|
| 1 | 工藤 | 425 |
| 2 | 木村 | 416 |
| 3 | 成田 | 364 |
| 4 | 斎藤 | 358 |
| 5 | 高橋 | 333 |
| 6 | 佐藤 | 264 |
| 7 | 小三 | 251 |
| 8 | 葛平 | 196 |
| 9 | 西川 | 192 |
| 10 | 山内 | 172 |
| 11 | 戸田 | 167 |
| 12 | 藤田 | 163 |
| 13 | 伊藤 | 162 |
| 14 | 小田 | 155 |
| 15 | 三浦 | 152 |
| 16 | 対馬 | 149 |
| 17 | 太田 | 148 |
| 18 | 阿部 | 146 |
| 19 | 長尾 | 139 |
| 20 | 藤田 | 131 |

多彩な民族ども

市では、昭和四十八年度から、父または母のいない遺児たちを励まし、健全な育成と福祉の向上をはかるために、祝金弔慰金などを支給することになりました。該当する方は市福祉事務所の窓口までお申し出ください。

遺児の入学 祝金の受給手続きを

片親が行方不明の子も市内に住んでいる人で(日本国民であること)父、または、母が下記の事項に該当する遺児を現に養育している方に支給されます
(1)父、または母が死亡した者(2)父、または母の生死がひき続き、三カ月以上明らかでない者(3)父、または母がひき続き一年以上、行方不明となっている者(4)父または母にひき続き一年以上遺棄されている者(5)母が婚姻によらないで懐胎した者など、ほかに三つの要件があります。

卒業のお祝に七千円

入学祝金は、遺児が小学校と中学校へ入学するとき、ひとり五千元
卒業祝金は、遺児が中学校を卒業するとき、ひとり七千円

弔慰金は、父、または母の死亡により、児童が遺児となったとき、一世帯につき一万円、を支給することになっております。

申請は五月末日まで

以上のなかで、昭和四十八年度(さる四月)に小学校、および中学校に入学された遺児は、五月末日まで市福祉事務所へお申し出ください。卒業祝金については、昭和四十九年三月から適用されます。なお詳しくは市福祉事務所までお問い合わせください。

水害を速報した アマ無線(五所川原クラブ)が受賞

昨年夏、県下を襲った「四七年七月豪雨」で、愛用の無線機を使って市の対策本部に被害状況を刻々伝えた日本アマチュア無線連盟五所川原クラブ(伊藤博会長)は四月二十一日、「適切な非常通信をおこなった」として東北地方非常無線通信協議会(久保勤著会長)から表彰されました。

七十五秒が冠水する被害に見舞われたが、市が九日早朝設けた対策本部の要請で会長の伊藤さんから五人がさっそくかけつけてくれました。

五人は、市庁舎四階に無線基地を開局する一方、市の被害調査班に同行し、車の電源を利用した送信機で行く先々から被害状況を速報し、市の被害状況の掌握に一役かって大活躍しました。



水害状況を受信するクラブ員

「農業から他産業へ転職訓練」

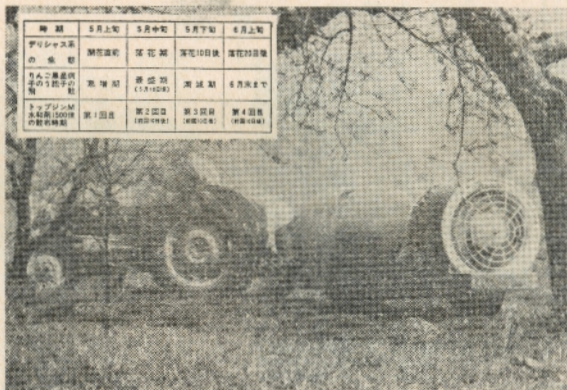
▽定員 十人
なお、訓練の手続き、訓練中の特典など詳しくは市商工観光課、五所川原公共職業安定所、木造専修職業訓練校にお問い合わせください。

▽訓練期間 六月〜八月までの三カ月間

▽訓練場所 市内幾代森福祉会館

▽職種 縫製(メリヤス)

りんご「黒星病」 防除のポイントは 開花中散布



▽開花直前から落花20日後までトップジンM水和剤1,500倍を10日ごとに必ず4回散布すること
▽トップジンM水和剤の2回目の散布は国光の開花中となるが、この時期が黒星病胞子の飛散の最盛期なので必ず散布すること
▽トップジンM水和剤1,500倍は、開花中に散布しても花粉を殺さないでカラマツの心配はありません。またサビのおそれもない。
▽黒星病は5月20日頃から葉や果実に見え始めるので、発生に注意しみつけたい。摘みとって焼くこと
▽黒星病を発見したら農林事務所、普及所、病害虫防除所、市町村、農協、りんご協会にすぐ連絡してください
▽黒星病に要する農業費の一部を助成することになっていますので、くわしいことは北農林事務所、市農林課にお問い合わせください。

自衛隊一家から弘大に合格

市内藻川で農業を営む川浪三郎兵衛さん(五四)では、息子の三兄弟が自衛隊に勤める。自衛隊一家々ですが、この春三男の幸男さん(二〇)は、弘高通信制からみごと弘前大学に合格し「自衛隊時代の努力が実った」と両親とも大喜びです。

幸男さんは陸上自衛隊少年術科学校(武山)を卒業すると、弘前市で下宿しながら弘高通信制に入り、一年間の努力が実って弘大教育学部(中学校教員養成課

程(教科)に合格しました

心の花だより

夏に赤味をおびた金色の花を咲かせ、五所川原市内のあちこちの庭で植えられているのを見ることが出来ます。

昔、中国に悪い疫病が蔓延したことがありました。

この時ある薄倅な若い医者が、なんとかしてこの疫病を防ぎ止めたいものだ、と一生けん命に考えています。

キンセンカ

(キク科)

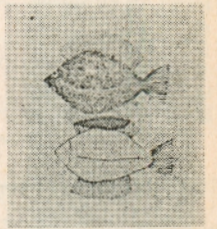
ろい花を煎じて病人に用いましたところ、病に苦しんでいた人々ははげまきき快方に向うのであります。その功により、若い医者は

おしらせ

なお「心の花だより」は今回をもって終り次回から「花と緑と小鳥のひろば」と題して身近な花と緑と小鳥を紹介いたします。

待医の位を得ることができました。この医者が夢に見た東野の黄花というの、金盞花(キンセンカ)のことだったので。このキンセンカの正確な名は「トウキンセンカ(唐唐)」であります。

おしらせ



「婦人病検診三十一日締切」

検診車による「婦人病検診」は、弘前大学の協力で次の要領でお願いします。

検診を希望される方は、五月三十一日まで市健康年金課または各支所、市農協七和農協指導部に申し込んでください。

▽日時 六月二十日 正午から午後二時まで受け付けします

▽対象者 市内に住む満三十五歳以上の婦人の方

▽検診場所 市中央公民館前

▽料金 八百円のうち個人負担四百円

▽申込方法 住所、氏名、年齢、世帯主の氏名を明記すること。

「身障者扶養共済」制度に加入を

この制度は、将来自立することが困難な心身障害者を扶養している配偶者、父母、兄弟、姉妹などが、万一の場合（死亡、不具廃失等の場合）に、残された心身障害者（児）に年金月額二万円を支給し生活の安定と福祉の向上をはかることを目的とした県条例による制度です。

市では、昭和四十八年度から保護者のうち低所得者で加入された場合は、つぎのとおり掛金の一部を助成することになりましたので該当される方はひとりでも多く加入されるようおすすしめします。

掛金はつぎのとおりです。三十四歳までの人 月額千円

三十五歳から四十四歳までの人 月額千三百円
四十五歳以上の人 月額千五百円

つぎの場合
は申請にもついで、県と市でそれぞれ補助することになっております。

(1)生活保護法による保護受給世帯の場合 県が百分の七〇、市が百分の三〇

(2)市民税の非課税世帯の場合 県が百分の五〇、市が百分の二五

(3)市民税の所得割を課せられていない均等割の世帯の場合 県が百分の三〇、市が百分の二〇

加入申し込みなどかわしいことは、市福祉事務所にお問い合わせください。

「プラスチック」回収に協力を

ゴミとして排出されるプラスチック廃棄物の処理が問題になっていますが、プラスチック容器の回収が義務付けられている「ヤクルト」では消費者家庭に回収に協力するよう呼びかけています。

プラスチック容器の処理体制は十分に整っているが回収率を高めるには、飲み終わったカラ容器は必ず表の受箱に出して置き、配達員が回収しやすいようにご協力をお願いします。

「江渡さんらが」図書を寄贈

市内旭町の江渡哲哉さんは四月二十五日、七十七歳の喜寿を記念して市に茶道

に関係した書籍八十冊と本箱の目録を贈りました。市では市立図書館に「茶道文庫」を設け一般に開放します。

また、五所川原ライオンズクラブ（竹内愛真会長）は五月一日、市立「老人憩の家」におとしり向けの図書四十二冊を贈りました

「飯詰地区で」地籍調査を実施

地籍調査とは、正しい測量によって新しく地図と帳簿を作り、皆さんの土地の正しい位置、境界、地番、地目、面積を明らかにする調査です。

これができますと、土地改良事業をはじめ、土地に関する施策の基礎資料として利用できますので皆さんのご協力をお願いします。調査面積 宅地 八五ヘクタール 農地 七一五ヘ



市の施設見学会

▷とき 6月13日（水）午前9時30分から午後3時30分終了の予定。
▷申込方法 6月6日（水）までにはがきに住所、氏名、年齢、職業を書いて市情報課にお申し込みください。
▷見学コース 市庁舎前（集合）～駅東部開発事業～松島団地～学校給食センター～飯詰ダム～新宮団地～衛生処理センター～市庁舎の順です。
▷お昼 昼食は各自ご持参願います。
なお施設見学会は6月から10月まで毎月一回（第2水曜日）を予定しております。

交通事故死者3割減を達成しよう

飲酒運転追放運動中です
飲酒運転は死亡事故の原因になります
飲酒の交通事故は加害者も被害者とも家庭を破壊します

青森 国体

テーマ、スローガンを募集

▽応募資格 県在住者と県外の県出身者であればだれでも応募できます。

▽応募方法 応募作品は未発表のものに限ります。官製はがきを使用し、かい書で住所と出身地（県外居住の方）氏名、年齢、職

業、勤務先または学校名、性別を記入し一枚にテーマ、スローガンのいずれか一点を縦書きとし、応募枚数に制限はありません。

▽応募の締切 昭和四十八年五月三十一日（当日消印有効）

▽作品の送先 青森市長 島一丁目一（郵便番号〇三〇）青森県庁内、第三十二回国民体育大会青森県準備委員会事務局あて

▽ほう賞 テーマ、スローガンともそれぞれ入選一点五万円、佳作一点五千元以内、同一作品があった場合抽選によって決定します。